



2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社デジタルフト 上場取引所 東
 コード番号 9244 URL <https://digitalift.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 百本 正博
 問合せ先責任者（役職名） 上級執行役員 CFO（氏名） 久保 聖（TEL）03(6427)1866
 半期報告書提出予定日 2026年5月15日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	1,763	3.0	119	—	115	—	70	—
2025年9月期中間期	1,711	3.6	4	△51.7	7	△34.6	2	24.2

(注) 包括利益 2026年9月期中間期 73百万円(—%) 2025年9月期中間期 5百万円(102.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	49.35	49.17
2025年9月期中間期	1.46	1.45

(注) 対前期（対前年同中間期）増減率について、増減率が1,000%以上となる場合は「—」を記載しております。なお、具体的な2026年9月期中間期の対前年同中間期増減率は次のとおりです。

営業利益2,531.0%増、経常利益1,446.0%増、親会社株主に帰属する中間純利益3,294.5%増。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	2,096	835	37.1
2025年9月期	2,243	778	32.0

(参考) 自己資本 2026年9月期中間期 778百万円 2025年9月期 717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,321	23.8	210	12.0	196	5.9	111	2.8	77.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期中間期	1,571,000株	2025年9月期	1,571,000株
② 期末自己株式数	2026年9月期中間期	140,001株	2025年9月期	140,001株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年9月期中間期	1,430,999株	2025年9月期中間期	1,427,297株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

我が国のインターネット広告市場において、2025年のインターネット広告費(注1)が4兆459億円(前年比10.8%増)と広告費全体の50.2%を占めるまでに引き続き高い成長を維持しております。堅調な企業収益や賃上げの進展を背景に、国内の雇用・所得環境は底堅く推移いたしました。一方で、米国経済の動向や中東情勢をはじめとする地政学リスクの長期化に加え、不安定な為替相場やエネルギー価格の上昇等の影響も継続しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループはミッション「動かそう、事業も、その先も。」およびビジョン「共挑型マーケティングパートナーへ。」を掲げ、①「マーケティンググロースデザイン」、②「コンテンツエクイティエンハンスメント」、③「データグロースアクセラレーション」という3つのサービス領域を通じて、マーケティングに関する「フロントエンド」「ミドルエンド」「バックエンド」をカバーし、戦略立案から戦術への落とし込み、実行までのトータルサービスを多種多様なお客様に対して提供しております。

当中間連結会計期間において、グループ各社ともに新規顧客開拓の積極的な活動と並行し、既存顧客への提供価値向上を推進しました。その結果、売上高は前年同期と同水準となっております。また、体制強化に伴い販売管理費は増加したものの、収益性を重視した案件運営及び市場環境の変化への対応を進めるなか、グループ各社のクライアントポートフォリオの見直し及びAIの利活用を中心とした業務効率化による収益構造の改善に注力いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は1,763,113千円(前年同期比3.0%増)、営業利益は119,935千円(同2,531.0%増)、経常利益は115,541千円(同1,446.0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は70,618千円(同3,294.5%増)となりました。

なお、当社グループは、マーケティングコンサルティング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(注1) 出典：株式会社電通「2025年日本の広告費」2026年3月5日

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は2,096,633千円となり、前連結会計年度末と比べ146,546千円の減少となりました。これは、主に現金及び預金が87,298千円及び売掛金及び契約資産が72,991千円減少したことによるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は1,261,335千円となり、前連結会計年度末と比べ202,994千円の減少となりました。これは、主に1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金が151,323千円及び未払法人税等が13,287千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は835,297千円となり、前連結会計年度末と比べ56,448千円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が70,618千円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末より87,298千円減少し、1,379,200千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、113,081千円の収入となりました(前年同期は69,686千円の収入)。これは主として、法人税等の支払額51,034千円があった一方、税金等調整前中間純利益116,365千円及び売上債権の

減少72,991千円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、31,491千円の支出となりました(前年同期は142,364千円の収入)。これは主として、無形固定資産の取得による支出12,323千円及び敷金及び保証金の差入による支出9,736千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、168,888千円の支出となりました(前年同期は182,736千円の支出)。これは主として、長期借入金の返済による支出179,323千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年11月14日の「2025年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,466,498	1,379,200
売掛金及び契約資産	478,696	405,704
その他	15,707	29,613
貸倒引当金	△6,149	△5,575
流動資産合計	1,954,752	1,808,943
固定資産		
有形固定資産	22,629	27,681
無形固定資産		
のれん	80,336	64,316
その他	1,000	12,630
無形固定資産合計	81,337	76,947
投資その他の資産		
投資有価証券	120,078	120,078
その他	64,382	62,983
投資その他の資産合計	184,460	183,061
固定資産合計	288,426	287,690
資産合計	2,243,179	2,096,633
負債の部		
流動負債		
買掛金	279,575	283,177
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	225,741	160,371
未払法人税等	55,673	42,386
未払消費税等	19,535	21,074
賞与引当金	1,400	1,626
株主優待引当金	10,120	—
資産除去債務	3,996	—
その他	155,900	128,125
流動負債合計	1,251,942	1,136,760
固定負債		
長期借入金	210,527	124,574
資産除去債務	1,860	—
固定負債合計	212,387	124,574
負債合計	1,464,330	1,261,335
純資産の部		
株主資本		
資本金	140,460	140,460
資本剰余金	134,710	124,929
利益剰余金	592,149	662,768
自己株式	△150,040	△150,040
株主資本合計	717,279	778,117
新株予約権	14,685	14,983
非支配株主持分	46,884	42,197
純資産合計	778,849	835,297
負債純資産合計	2,243,179	2,096,633

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,711,849	1,763,113
売上原価	1,284,853	1,151,536
売上総利益	426,996	611,577
販売費及び一般管理費	422,437	491,641
営業利益	4,558	119,935
営業外収益		
受取利息	780	1,492
受取手数料	1,828	1,586
持分法による投資利益	6,671	—
その他	976	20
営業外収益合計	10,256	3,100
営業外費用		
支払利息	7,332	6,290
その他	8	1,203
営業外費用合計	7,341	7,494
経常利益	7,473	115,541
特別利益		
新株予約権戻入益	1,036	763
固定資産売却益	—	60
段階取得に係る差益	4,878	—
特別利益合計	5,915	824
税金等調整前中間純利益	13,388	116,365
法人税、住民税及び事業税	11,367	38,968
法人税等調整額	△3,380	3,681
法人税等合計	7,987	42,650
中間純利益	5,401	73,715
非支配株主に帰属する中間純利益	3,320	3,096
親会社株主に帰属する中間純利益	2,080	70,618

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間純利益	5,401	73,715
中間包括利益	5,401	73,715
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,080	70,618
非支配株主に係る中間包括利益	3,320	3,096

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	13,388	116,365
減価償却費	1,636	4,494
のれん償却額	15,555	16,020
株式報酬費用	288	1,061
受取利息	△780	△1,492
支払利息	7,332	6,290
持分法による投資損益(△は益)	△6,671	—
段階取得に係る差損益(△は益)	△4,878	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△65	△574
賞与引当金の増減額(△は減少)	700	226
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	△10,120
売上債権の増減額(△は増加)	△5,950	72,991
仕入債務の増減額(△は減少)	37,403	3,601
未払金の増減額(△は減少)	10,262	△12,367
未払消費税等の増減額(△は減少)	10,083	1,539
その他	1,549	△28,761
小計	79,855	169,275
利息の受取額	780	1,492
利息の支払額	△7,383	△6,653
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,566	△51,034
営業活動によるキャッシュ・フロー	69,686	113,081
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△7,829
無形固定資産の取得による支出	—	△12,323
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	146,398	—
敷金及び保証金の差入による支出	△4,034	△9,736
敷金及び保証金の回収による収入	—	6,511
その他	—	△8,113
投資活動によるキャッシュ・フロー	142,364	△31,491
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△25,040	—
長期借入れによる収入	—	28,000
長期借入金の返済による支出	△159,130	△179,323
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△17,565
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,433	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△182,736	△168,888
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	29,314	△87,298
現金及び現金同等物の期首残高	1,564,035	1,466,498
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,593,349	1,379,200

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、マーケティングコンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

なお、当第1四半期連結会計期間より、従来「統合デジタルマーケティング事業」としていたセグメント名を「マーケティングコンサルティング事業」に変更しております。当該変更は名称のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。